

1 New school building

2 Compulsory Education School

3 Learning area introduction

4 New School Vision

1 下基剛依さん



4 ホール

校舎入り口から下駄箱を過ぎると3階まで吹き抜けの大ホールが広がります。地域のかたや異学年の交流の場として活用され、将来的には、昼休みなどを使つての吹奏楽部の演奏も計画中。

大場希咲さん



5 中庭

3か所ある中庭は、理科の授業や委員会活動の場として利用します。また、光を取り込みやすくし、学校を明るくする効果もあります。昼休みに開放し、交流の場としても今後活用する予定。



3 プール

日当たりも良く、福智山が見えるプールは、深さ60cmのプールと深さ100cmの4コースある25mプールを完備。深さの違う2つのプールがあり、体の成長に合わせた授業ができます。

原聖琉虎くん

原澤乃夢さん



2 給食センター

新たな機材の導入などで、作業効率がこれまで以上に良くなり、様々なメニューの給食を作ることも可能となりました。他にも、2階から1階の調理場を見学できる設計で、施設見学などで使用できます。



1 教室

各教室や少人数教室などは、木をベースとした、温かみがあり、落ち着いた空間となっています。また、各クラスの教室に1つモニターが設置され、2学期の始業式はリモートで行われました。

船川龍之介くん



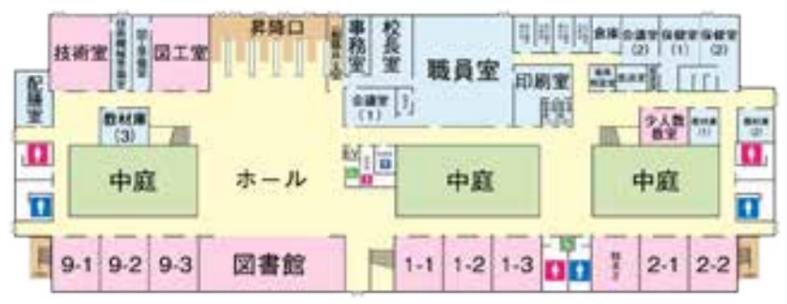
- 1 後期課程の生徒が新校舎に入ったのは2学期初日が初めて。始業式後、校内を見学し、特別教室の場所や設備などを確認。
- 2 オープンスペースで学習に励む姿も金田義務教育学校の新校舎ならではの風景。
- 3 昼休みの後は、全校児童・生徒が手分けして広い校舎を隅々まで丁寧に掃除。



2F



1F



6 図書室

仕切りがなく開放感があり、校舎の中央にあることで、異学年との交流や児童生徒たちの居場所になる「知的交流拠点」としてしています。木を基調にした居心地の良さをベースに作られています。

丸山恋士くん

7 オープンスペース

2階と3階の中廊下にあるオープンスペースは、児童生徒同士の語りや安らぎ、読書など憩いの場として利用したり、勉強などで教師へ相談や質問する学習の場としても活用されます。

辰嶋開くん



8 音楽室

生徒一人ひとりに合唱や演奏の指導ができるよう階段状のステージを設置。隣には個別レッスン室が完備され、3階から見渡す雄大な眺望の中、吹奏楽の練習をすることができます。

松崎優斗くん



9 体育館

校舎の両脇に大体育館と小体育館の2つがあり、大体育館は全校児童・生徒が収容可能な広さがあります。他にも、大体育館には武道場も完備され、主に後期課程の授業などで利用します。

大井真翔くん



新校舎の特色

A place that students are proud of  
③ Learning area introduction

9のスペース

学習習慣や社会性を身に付けることができる学習環境や、様々な個性をもつ生徒に細やかなサポートができる環境を備えた「金田義務教育学校」。ここでは、その中でも新校舎の特色ある9つの空間をご紹介します。

地域と共に成長し、安全で豊かな学校をコンセプトに

大きく3つの柱で設計された新校舎。生徒の安全と学習意欲、そして様々な人たちとの交流を深める新たな教育の形への緻密な設計が施されています。一つ目の柱が「安全安心な学校」。職員室を昇降口の隣に配置し、防犯に対応した設計がなされています。保健室は成長段階に配慮し前期・後期課程に1室ずつ設置。また、室内から屋外までがユニバーサルデザインとなっています。二つ目の柱が「地域に愛される学

校」。学校を訪れた際に、各階に交流の場や展示エリアが配置され児童生徒の活動を感じることができま。三つ目の柱が「楽しく豊かな学びができる学校」。各専門教科を学ぶ特別教室や少人数教室を多数配置。他にも可動式間仕切りを用いた教室もあり、時代とニーズに対応できる設備となっています。このように「地域と共に成長し、安全で豊かな学校」をコンセプトに特色ある機能を多く兼ね備えています。そして現在、整備中のグラウンドは、200mと150mのトラックが2面取れる広さに整備されます。グラウンドは、2学期中に工事を完了し、授業での活用を開始する予定です。